

信夫山の資源を活かしたまちづくりについて

1 目的

本市のシンボルとしての信夫山の魅力向上を目指し、自然環境・歴史文化の保存、観光地としての活用についての基本的な方向性について、新たな方針を検討する。

「風格ある県都を目指すまちづくり構想」を踏まえ、まちを楽しみ、すごせる回遊空間の形成を目指し、信夫山の資源を活かしつつ魅力的な道路や歩行空間などの整備について基本的な方向性について検討する。

2 検討の視点

(1) 信夫山の保全及び活用の方針

- ①信夫山の豊かな資源について
- ②官民との連携と観光・交流機能の充実について
- ③信夫山の防災機能について

(2) 信夫山の資源を活かした街なみ整備の方針

- ①回遊性の向上を図るには
- ②官と民による役割分担と連携について
- ③イベント等ソフト施策について